

大橋市民センターエレベーター更新工事

図 面 リ ス ト		
図面番号	建築設計図面（昇降機更新工事）	縮 尺
A-01	特記仕様書（改修その1）	
A-02	特記仕様書（改修その2）	
A-03	案内図 配置図（仮設計図面）	S=1/200
A-04	1階平面図（仮設計図面）	S=1/100
A-05	2階平面図（仮設計図面）	S=1/100
A-06	エレベーター工事概要書	
A-07	各階昇降路平面図	S=1/10・20
A-08	各階乗り場立面・断面図（昇降路断面図）	S=1/20・50
A-09	1階乗り場平面・正面・断面図	S=1/3・20
A-10	2階乗り場平面・正面・断面図	S=1/3・20



I 工事概要

1. 工事場所

大橋市民センター（鶴ヶ島市大字太田ヶ谷8-3番地）

2. 敷地面積

4,194㎡

3. 工事種目
（建物概要）

建築工事（昇降機更新工事）

建物用途：公民館
構造規模：RC造2階建て
延べ面積：2,096㎡

4. 工事内容

既設乗用エレベーター1基の撤去更新工事を行い老朽化及び既存不適格の解消を行う。

5. 工期

契約工期 契 約 日 から令和 年 月 日まで
共通仮設費率の算定に用いる工期 令和 年 月 日から令和 年 月 日まで
主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間 現場施工に着手するまで
現場代理人の現場への常駐を要しない期間 現場施工に着手するまで
現場施工期間 令和 年 月 日から令和 年 月 日まで
ただし、仮設工事等は施設との協議による

6. 工事範囲

※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。
・「3. 工事種目」のうち各工事項目における工事範囲は下記表のとおりとする。
ただし、他の工事種目は全て、今回工事範囲とする。

工事種目	建築工事 （昇降機更新工事）			
2 仮設工事	○			
3 防水改修工事				
4 外壁改修工事				
-1 コンクリート打直し 仕上げ外壁				
-2 モルタル塗り仕上げ外壁				
-3 タイル張り仕上げ外壁				
-4 塗り仕上げ外壁				
-5 外壁用塗膜防水塗リ				
5 建具改修工事				
6 内装改修工事				
7 塗装改修工事	○			
8 耐震改修工事				
9 環境配慮改修工事				
10 鉄筋工事				
11 コンクリート工事				

II 建築改修工事仕様

（1）質問回答書、本特記仕様書（改修）及び図面に記載されていない事項は、すべて「埼玉県建築工事特別
共通仕様書」、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）」（令和7年版）」
（以下、「改修標準仕様書」という。）及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書
（建築工事編）」（令和7年版）」（以下、「標準仕様書」という。）による。
なお、新たな版が出版され、当該基準によりがたい場合は、監督員と協議し、適用する基準等を決定する。
（2）改修標準仕様書及び標準仕様書で「特記がなければ、」以下に具体的な材料・工法・検査方法等を示し
ている場合において、それらが関係法令等（条例を含む）と異なる場合には、具体的な対応策について
監督員と協議すること。
（3）本特記仕様の表記
①項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
②特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。○印と※の場合は、○のみを適用する。
③特記事項に記載の〔 ． ． 〕内の表示番号は、「埼玉県建築工事別共通仕様書」の当該項目、当該
図表を示す。
④特記事項に記載の〔 ． ． 〕内の表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図表を示す。
⑤特記事項に記載の（ ）内の表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図表を示す。
⑥製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また、（ ）内は製品名を示す。
⑦本工程において、「環境物品等の関連の推進に関する基本方針」（令和5年2月24日変更閣議決定）及び、
「埼玉県グリーン調達・環境配慮契約推進方針（最新版）」による特定調達品目のうち、「判断の基準」
を満たす環境物品等（以下「特定調達物品」という）を選択するよう努めるものとする。
なお、□印は設計図書で定めのある品目を示す。
⑧注は改修標準仕様書及び標準仕様書記載事項で、注意すべきものを示す。

1 適用基準等

※埼玉県建築工事実務要領に記載の要領等
※建築工事監理指針（国土交通省監修）（参考図書）
※建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修 最新版）
なお、新たな版が出版され、当該基準によりがたい場合は、監督員と協議し、
適用する基準等を決定する。

2 条件明示事項

保険の種類 [1.1.3]
※法定外の労災保険（工事に従事する者(全ての下請負人を含む)の業務上の負傷等を対象とするもの）
※建設工事保険等（工事目的物及び工事材料等を対象とするもの）
※請負業者賠償責任保険等
保険の期間 ※工事完成期日後14日を含む期間

3 工事実績情報の登録

※行う（請求代金額500万円以上、10日以内に登録） ・行わない [1.1.4] [1.1.8]

4 適用区分

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。
・風圧力 風速（V0= m/s）、地表面粗度区分（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ）
・積雪荷重 H12.5.31告示第1455号における区域 別表（ ）
・大地震時の非構造物材の変形追従性能を確認する場合の層間変形角
・1/200 ・1/150 ・1/120 ・ 図示（ ）
確認箇所（ ）

5 別契約の関連工事

※監督員指定の別契約工事を今回工事全体としてとらえ、主導的に調整する。 [1.1.7]
・監督員指定の別契約工事を行う全体調整に全面的に協力する。

6 施工に注意を要する
区域等

本工程場所以は以下の区域等に指定等されているため、施工計画の作成 [1.1.12、13]
及び施工に当たっては関係法令等の遵守に十分注意する。
・周知の埋蔵文化財包蔵地 ・史跡名勝天然記念物

7 工事の記録

埼玉県建築工事写真作成要領に基づき作成し、監督員に提出する。 [1.2.4] [1.6.6]
埼玉県電子納品運用ガイドライン ※適用する（CD-R又はDVD-Rで1部提出）
・適用しない

8 電気保安技術者

適用する [1.3.3] [1.3.1]

9 施工条件

施工時間 [1.3.5]
※行政機関の休日に関する法律（S63第91号）に定める行政機関の休日以外とする。
ただし、監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。
・以下の期間を除いた現場閉鎖日数の割合が28.5%(8日/28日)以上であること。
年末年始6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみの期間、工事全体の一時中止期間
指定期間（ ）
施工時間以外の施工条件
・図示による

10 施工中の安全確保

本工程の受注者を、作業が同一の場所において行われることによって生じる労働災害
を防止するために必要な措置を講ずべき者（経括安全衛生管理義務者）とする。[1.3.7]

11 環境保全等

建設機械は、原則として排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用する。 [1.3.11]

12 発生材の処理等

引渡しを要するもの [1.3.12] [1.1.13]
※無し（全て構外搬出適正処理） ・有り（※図示 ・ ）
注 a) 発生材のうち特記により、引き渡しの要するものは、指示された場所に整理
のうえ調書を添えて監督員に報告する。
b) 産業廃棄物処理許可書及び最終処理受入票の写しを提出する。
c) 引き渡しを要しないものは、すべて構外に搬出し、「資源の有効な利用の促
進に関する法律」「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（以下
「建設リサイクル法」という。）「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」そ
他関係法令等により適切に処理し監督員に報告する。

13 県産品の使用

受注者は、工事材料に係る納入契約を締結する場合には、当該契約の相手方は [1.4.2]
埼玉県内に本店を有する者の中から調達するように努めるとともに、調達する
工事材料は、埼玉県産とするよう努める。

14 環境への配慮

建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び [1.4.1] [1.4.3]
性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。
① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板横層材、MDF、
パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保
温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレン
を発散しないか、発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルム
アルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。
② 接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない
材料を使用する。
③ 接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル
等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。
④ ①の材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、
ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が
極めて少ない材料を使用したものとする。

15 材料の品質等

※本工程に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能と同等以上 [1.4.2]
のものを使用する。ただし製造業者等が指定されている場合に同等以上
のものとする場合は、あらかじめ監督員の承諾を受ける。
※材料・機材等の製造業者等は次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証
明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面
を提出して監督員の承諾を受ける。
① 品質及び性能に関する試験データが整備されていること
② 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること
③ 安定的な供給が可能であること
④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること
⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること
⑥ 販売、保守等の営業体制が整えられていること
※製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の基
本方針の判断の基準に従い、あらかじめ「木材・木材製品の合法性、持続可能性の
証明のためのg'd'らい」（林野庁 H18.2.15）に準拠した証明書を監督員に提出する。

16 石綿含有建材の調査

調査 [1.5.1]
※石綿含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を
行う。
調査資料（ ）
◎分析による石綿含有建材の調査
分析対象
アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クワシタイト、
クロソライト、トレモライト

分析手法

	定性分析方法	定量分析方法
材料名	JIS A 1481-1または JIS A 1481-2	JIS A 1481-3または JIS A 1481-4
◎現場指示	○ 5箇所	・ 箇所
・	・ 箇所	・ 箇所
・	・ 箇所	・ 箇所

サンプル数 1箇所あたり1サンプル
採取箇所 ・図示 ◎ EV機械室

17 技能士

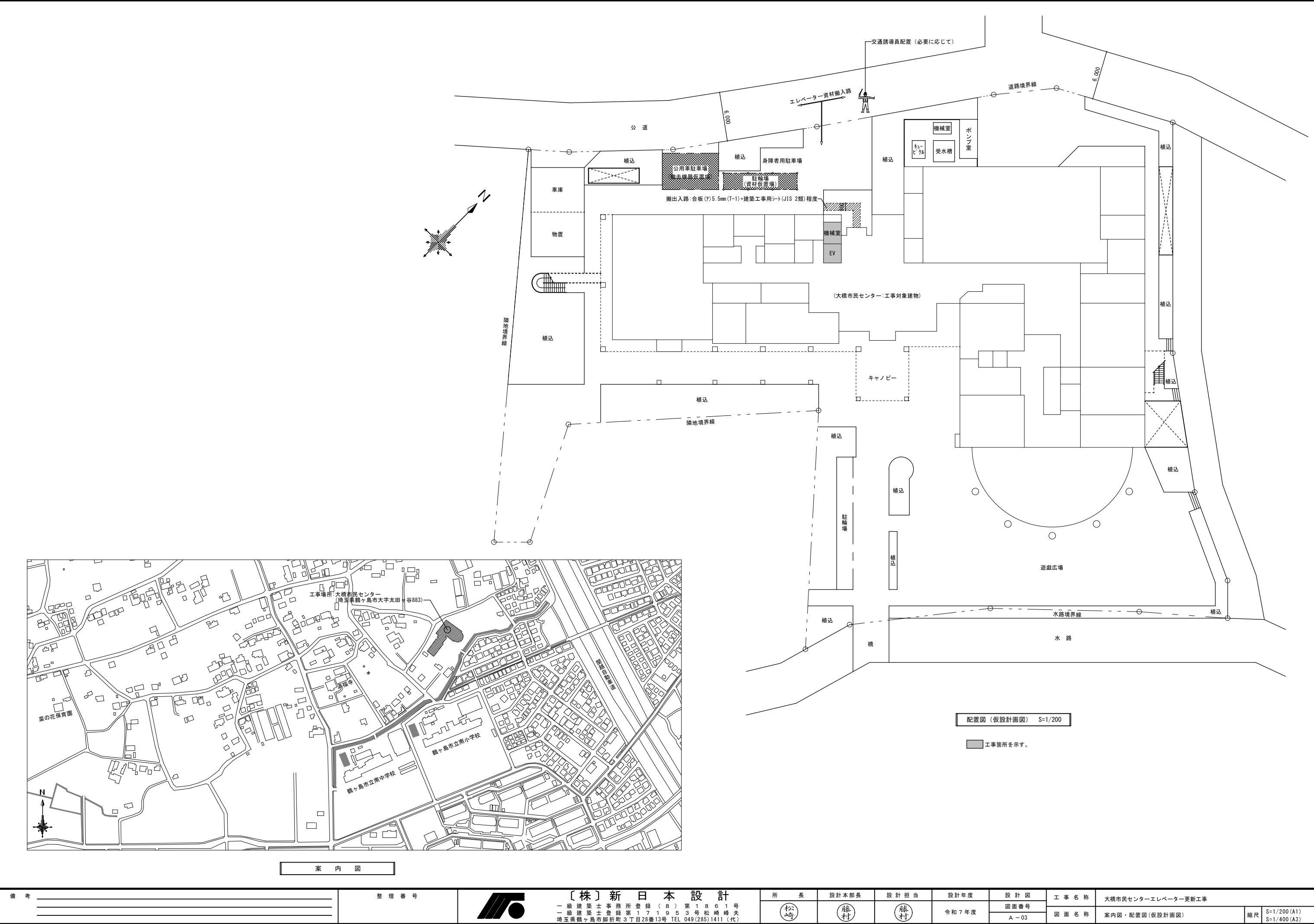
[1.6.2] [1.3.3]

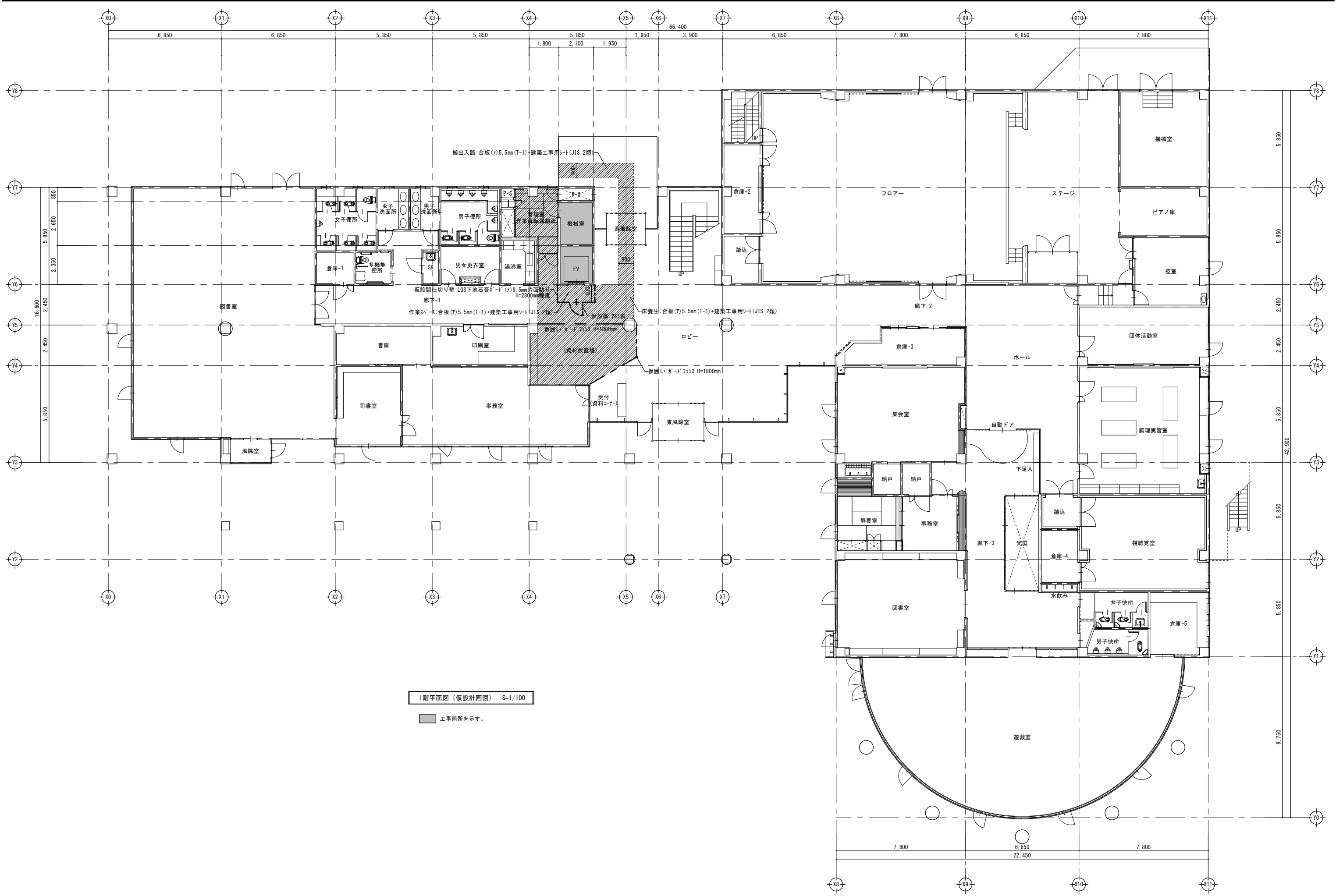
工事種別	適用技 能 士
仮設工事	・ とび作業
防水改修工事	・ F7A防水工事作業 ・ W7A防水工事作業 ・ F7B防水工事作業 ・ W7B防水工事作業 ・ 塩化ビニルシート防水工事作業 ・ W7C防水工事作業 ・ シェッド防水工事作業 ・ FRP防水工事作業 ・ 左官作業 ・ 内外装板金作業
外壁改修工事	・ 左官作業 ・ タイル張り作業 ・ 建築塗装作業 ・ 樹脂接着剤注入工事作業
建具改修工事	・ ビールサッシ工工作業 ・ ガラス工事作業 ・ 自動ドア施工作业 ・ 建築フィルム作業
内装改修工事	・ プラスチック系床仕上げ工事作業 ・ カーペット系床仕上げ作業 ・ 木質系床仕上げ工事作業 ・ 鋼製地下工事作業 ・ ボード仕上げ工事作業 ・

考 _____ _____ _____	整 理 番 号	 〔株〕新 日 本 設 計 一級建築士事務所登録（８）第１８６１号 一級建築士登録第１７１９５３号松崎峰夫 埼玉県鶴ヶ島市御折町３丁目28番13号 TEL 049(285)1411（代）	所 長	設計本部長	設計担当	設計年度	設計図	工 事 名 称			大橋市民センターエレベーター更新工事			
						令和7年度	図面番号	図 面 名 称		特記仕様書（改修その１）		縮尺	S=1/NS(A1) S=1/NS(A3)	
							A-01							

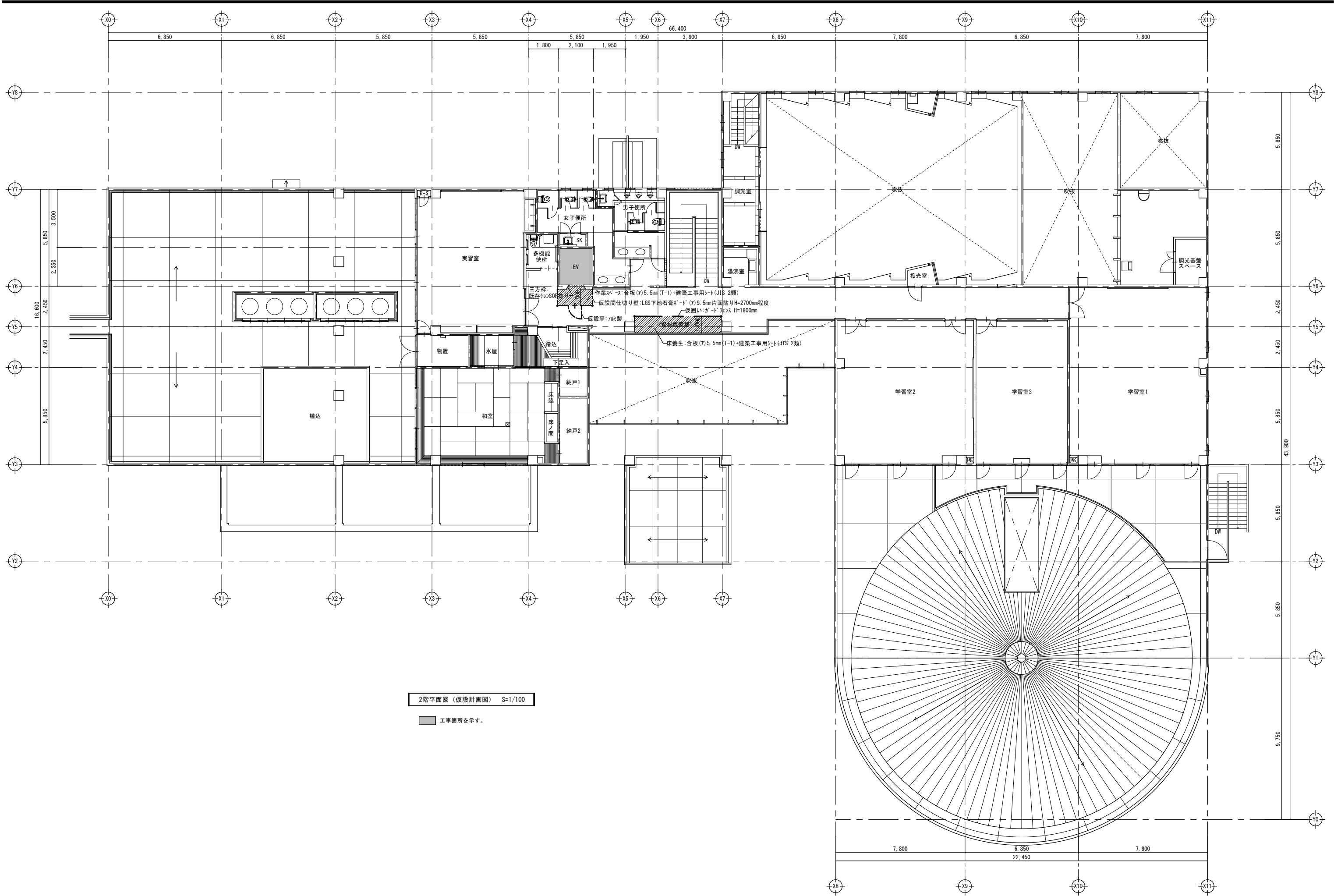
7	塗装改修工事	① 材料	屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ [7.1.3] 防火材料 ※屋内の壁・天井仕上げは防火材料とする。 ・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所:)
		② 下地調整	塗替えR種の場合の既存塗膜の除去範囲 [7.2.1~7] ※劣化部分は除去し、活膜部分は残す ・図示 ・
		③ 素地ごしらえ	下地調整 下地面の種類 下地調整の種類 塗替え ひび割れ部の補修 木部 ※不透明塗料塗りの場合はR種 - 鉄鋼面 ・RA種(注) ※RB種 ・ 亜鉛めっき面 ・RA種(注) ※RB種 ・ 亜鉛めっき面(鋼製建具) ・RA種 ※RB種 - モルタル、せつこうアスター面 ・RA種 ※RB種 ・ ・行う ・行わない コンクリート面(DP以外) ・RA種 ※RB種 ・ ・行う ・行わない ALCパネル面 ・RB種 ・RC種 ・ 押出成形セメント板面 ・RA種(注) ・RB種(注) ・ コンクリート面(DP) ・RA種(注) ・RB種(注) ・ せつこうボード面及び他ボード面 ・RA種 ※RB種 ・ ・行う ・行わない (注)DP以外からDPへ塗替えする場合の下地調整は、既存塗膜の種類及び劣化状況に応じてRA種(既存塗膜全除去)又はRB種(既存塗膜一部除去)を選定すること。
		④ 錆止め塗料塗り	錆止め塗料塗りの種類 [7.4.2、3] 素地面 塗装の種類 塗料の種類 工程の種類 鉄鋼面 SOP 塗替え A種 ※○種 ・ (工程の種類は [表7.4.3]) 新規見え掛り A種 ※A種 ・ EP-G 塗替え ・A種 ※B種 ※C種 ・ (工程の種類は [表7.4.3]) 新規見え隠れ ・A種 ※B種 ・ DP 塗替え 7.4.2(1) (4) (b) ・A種(下地調整RA種) ・B種(下地調整RB種) ・C種(下地調整RC種) (工程の種類は [表7.4.4]) 新規 による A種 による A種 亜鉛めっき鉄鋼面 SOP 塗替え ※A種 ・B種 ※○種 ・ (工程の種類は [表7.4.5]) 新規鋼製建具等 ※A種 ・B種 ※A種 ・ EP-G 塗替え C種 ・ ※○種 ・ (工程の種類は [表7.4.5]) 新規鋼製建具等 C種 ・ ※○種 ・ DP 塗替え B種 ・ 一 (工程の種類は [表7.4.6]) 新規 B種 ・ 一
8	環境配慮改修工事	⑤ 塗装 ㊦	[7.5.2~7.12.2] 塗装の種類 塗装面 工程 塗替え 新規 ○合成樹脂調合ベント塗り(SOP) 木部屋外 ※B種 ・ ※A種 ・ 塗料の種類 木部屋内 ※B種 ・ ※B種 ・ ※1種 ・2種 鉄鋼面 ※B種 ・ ※B種 ・A種 亜鉛めっき鉄鋼面(鋼製建具以外) ※A種 ・ ※B種 ・ 亜鉛めっき鉄鋼面(鋼製建具以外) ※B種 ・ ※B種 ・ ・クリヤラッカー塗り(C) ※B種 ・A種 ※B種 ・A種 ・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD) ※B種 ・A種 ※B種 ・A種 ・耐候性塗料塗り(DP) 鉄鋼面 上塗り等級() 級 一 一 亜鉛めっき鉄鋼面 上塗り等級() 級 一 一 コンクリート面及び押出成形セメント板面 ・ コンクリート面等 ※B種 ・ ※B種 ・A種 屋内の木部 ※B種 ・ ※A種 ・ 屋内の鉄鋼面 ※B種 ・ ※B種 ・A種 屋内の亜鉛めっき鉄鋼面 ※A種 ・ ・B種 ※A種 ・合成樹脂エマルションベント塗り(EP) ※B種 ・ ・A種 ※B種 ・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) ※B種 ・A種 ※B種 ・A種 ・ステイン塗り ・ビグメントステイン塗り ・オイルステイン塗り(OS) ・ ・木材保護塗料塗り(WP) ※B種 ・A種 ※B種 ・A種 つや有合成樹脂エマルションベント塗り(コンクリート面、モルタル面、せつこうアスター面、せつこうボード面、その他ボード面)の塗替えの場合のしき止め ※B種又はC種の場合は[表7.9.1]の工程1の下塗りをしき止めシーラーとする ・ 合成樹脂エマルションベント塗りの塗替えの場合のしき止め ※B種又はC種の場合は[表7.10.1]の工程1の下塗りをしき止めシーラーとする ・ 注) DP以外からDPへの塗替えは、下地調整の種類に注意すること。 ・高日射反射塗料塗り ㊧ 下地調整 [7.2.2] ・RA種 ※RB種 ・RC種 工程 塗料その他 塗付け量(kg/m) 塗料塗り JIS K 5675 屋根用高日射 2種 ・1級 ・2級 塗料製造所の仕様による 反射率塗料 ・3級 クリヤラッカー塗りA種の工程2の適用 ・適用しない ・適用する(着色剤: ・溶剤系着色剤 ・油性染料着色剤) ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用 ・適用する ・適用しない オイルステイン塗りの工程等 ・製造所の仕様による
9	環境配慮改修工事	① 石綿粉じん濃度測定	測定時期、場所及び測定点 [9.1.1] 適用 測定 測定名称 測定時期 測定場所 測定点 (処理作業室ごと) ※ ※ 測定1 処理作業前 処理作業室内 ・各2点 ・()点 ※ ※ 測定2 施工区画周辺又は敷地境界 ・4方向各1点 ・()点 ・ 測定3 処理作業室内 ・各2点 ・()点 ※ ※ 測定4 出入口 ・各1点 ・()点 ※ ※ 測定5 集じん・排気装置の 出口吹出し風速 (処理作業室外の場合) 1m/s以下の位置 ※ ※ 測定6 施工区画周辺又は敷地境界 ・4方向各1点 ・()点 ※ ※ ※ 測定7 処理作業後(隔離 処理作業室内 ・各2点(※A3は各1点) ・()点 シート撤去前) 施工区画周辺又は敷地境界 ・4方向各1点 ※ ※ ※ 測定8 処理作業後(シート撤去後) 処理作業室内 ・()点 ・ 測定9 施工区画周辺又は敷地境界 ・()点 ・ 測定10 施工区画周辺又は敷地境界 ・()点 さいたま市内で測定を行う場合は市条例を遵守して実施すること。 測定方法 測定5のみ ※測定5の粉じん相対湿度計(測定5の粉じん計)、繊維状 粒子自動計測器(測定5の粉じん計)等、排気の粉じん濃度を迅速 に計測できる機器にて測定 測定5以外下表による 測定3 測定1,4,7,9 測定2,6,8,10 ワグネル管の直径(mm) 25 25 47 試料の吸引流量(L/min) ※1 ・ ※5 ・ ※5 試料の吸引時間(min) ※5 ・ ※120 ・ ※240 ・
		2 石綿含有吹付け材の除去(レベル1)	除去対象範囲 ・図示 [9.1.3] 除去工法 ※[9.1.3](2)(7)による ・ 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※密封処理 ※温風乾燥 ※固化 除去した石綿含有吹付け材等の処分 ・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(溶融施設または無害化処理施設)
		3 石綿含有保温材等の除去(レベル2)	除去工法 [9.1.4] ※[9.1.4](2)による(原形のまま、手ばらしが可能な場合) 除去対象範囲 ・図示 ・[9.1.3](2)による(損傷、劣化等で石綿粉塵を発生するおそれがある場合) 除去した石綿含有保温材等の飛散防止措置 ※密封処理 ※温風乾燥 ※固化 除去した石綿含有保温材等の処分 ・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(溶融施設または無害化処理施設)
		④ 石綿含有成形板の除去(レベル3)	除去対象範囲 ・図示 ○現場指示による [9.1.5] 石綿含有けい酸カルシウム板第一種の場合の隔離養生(負圧不要)方法 ・ビニールシート等による養生を行う 除去した石綿含有成形板の処分 ・石綿含有せつこうボード ※埋立処分(管理型最終処分場) ・石綿含有せつこうボードを除く石綿含有成形板 ・埋立処分(安定型最終処分場) ・中間処理(溶融施設または無害化処理施設) 除去した石綿含有けい酸カルシウム板第一種の処分 ・埋立処分(安定型最終処分場) ・中間処理(溶融施設または無害化処理施設)
10	省 略	⑤ 石綿含有建築用仕上塗材等の除去(レベル3)	除去対象範囲 ・図示 ○現場指示による [9.1.6] 着工前の試験施工 ・行う ・行わない 除去工法() 除去した石綿含有建築用仕上塗材等の飛散防止 ※密封処理 ※温風乾燥 ※固化 除去した石綿含有建築用仕上塗材等の処分 ・埋立処分(安定型最終処分場) ・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(溶融施設または無害化処理施設)
		6~11 省 略	
		10 ~ 省 略	
		11 省 略	

備 考	登 理 番 号	 〔株〕新 日 本 設 計 一 級 建 築 士 事 務 所 登 録 (8) 第 1 8 6 1 号 一 級 建 築 士 登 録 第 1 7 1 9 5 3 号 松 崎 峰 夫 埼 玉 県 鶴 ヶ 島 市 御 折 町 3 丁 目 28 番 13 号 TEL 049 (285) 1411 (代)	所 長	設計本部長	設計担当	設計年度	設計図	工 事 名 称	大橋市民センターエレベーター更新工事		
						令和7年度	図面番号	図 面 名 称	特記仕様書（改修その2）	縮尺	S=1/NS(A1) S=1/NS(A3)
			A-02								





備考	整理番号		[株]新日本設計				所長	設計本部長	設計担当	設計年度	設計図	工事名称	大橋市民センターエレベーター更新工事	
			一級建築士事務所登録(8)第1861号 一級建築士登録第171953号松崎峰夫 埼玉県鶴ヶ島市御折町3丁目28番13号 TEL 049(285)1411(代)				松崎	藤村	藤村	令和7年度	図面番号	図面名称	1階平面図(仮設計計画)	縮尺
											A-04			S=1/100(A1) S=1/200(A3)



備考	整理番号		【株】新日本設計 一級建築士事務所登録(8)第1861号 一級建築士登録第171953号松崎峰夫 埼玉県鶴ヶ島市岡折町3丁目28番13号 TEL 049(285)1411(代)	所長	設計本部長	設計担当	設計年度	設計図 図面番号	工事名称	大橋市民センターエレベーター更新工事	図面名称	2階平面図(仮設計画図)	縮尺	S=1/100(A1) S=1/200(A3)
				松山	藤村	藤村	令和7年度	A-05	図面名称					

エレベーター仕様			
号 機 名	NO. 1		
型 式	機械室レス P-11-C045		
用 途	乗用兼車いす用		
定格積載質量/定員	750kg/11人乗		
定 格 速 度	45m/min		
運 転 方 式	乗合全自動方式（乗り捨て方式）		
制 御 方 式	インバナー制御方式（マイコン制御、愛情アナウンス付）		
基本仕様	停止 階	2箇所（1.2 階）	
基本仕様	か こ 寸 法	間口1400mm 奥行1350mm 天井高さ2250mm	
	出入口寸法	幅900mm 高さ2100mm	
	戸 型 式	2枚戸中央開き	
	電 動 機	AC 3.5kW	
	動力用電源	AC 3φ 200V 50Hz	
	照明用電源	AC 1φ 100V 50Hz	
	連絡装置	同時通話式インターホン（型式：E-01MV）	
	設置場所	設置場所：1階（事務室）	
	監 視 装 置	リモートメンテナンスインターフェース付 （リモートメンテナンスを提供するためには、別途保守契約をしていただく必要があります）	
管制運転	地 震	有り（P波およびS波感知）（リスタート機能付）	
	火 災	無し	
	停 電	有り	
	自家発	無し	
建物用途別標準装備仕様	ケアフルセンサー付		
乗場仕様	三 方 枠	1階 小枠 ステンレスヘアライン（既設品活用、簡易清掃） 2階 大枠 銅板塗装仕上（既設品活用、シート貼り）	
	乗 場 戸	1階 ステンレスヘアラインエッチング仕上 2階 銅板化粧シート貼	
	幕 板	1, 2階 無し	
	敷 居	1, 2階 硬質アルミ（既設品活用、簡易清掃）	
	ホールランタン	1, 2階 無し	
	インジケーター	1階 横型アナログ表示（既設ケース活用）（LED化） カバー：ステンレスヘアライン仕上	
		2階 縦型デジタル表示（既設ケース活用、ビス付） カバー：ステンレスヘアライン仕上	
	ホールボタン	1階 抗菌凸文字ボタン（φ45）（S I A A認証） カバー：ステンレスヘアライン仕上（既設ケース活用）	
		2階 抗菌凸文字ボタン（φ45）（S I A A認証） インジケーターに絡込	
	車いす用 ホールボタン	1, 2階 抗菌凸文字ボタン（φ45）（S I A A認証） カバー：ステンレスヘアライン仕上（既設ケース活用）	
	天 井	サークルタイプ（0-01）（天井照明色：白色）	
	前 側 板	化粧銅板	
側 板	化粧銅板		
戸	化粧銅板		
出入口上部	化粧銅板		
床	荷重用樹脂タイル（2T）		
幅 木	化粧銅板		
敷 居	硬質アルミ		
かこ仕様	操 作 盤	ボタン 抗菌凸文字ボタン（φ33）（S I A A認証） カバー 樹脂成型品	
	インジケーター	カラー液晶表示（背景色：白） 操作盤に絡込	
	車いす用 操作盤	ボタン 抗菌凸文字ボタン（φ33）（S I A A認証） カバー 樹脂成型品	
	気くばり	ボタン 無し	
	操作盤	カバー 無し	
	鏡	ステンレス製	
	ハンドレール	角形ハンドレール：アルミアルマイト仕上（2方向）	
	監 視 壁	無し	
耐震クラス	A1.4		
既設活用品	三方枠、乗場敷居、横型インジケーターボックスケース（1階） インジケーターケース（2階） 車いす用ホールボタンケース フェッシャプレート、ポケットブラケット		

	N0. 1
	昇降機技術基準の解説 2016年版対応
	音声案内装置付
	ドアシグナル付マルチビームドアセンサー付
	車いす注意銘板付（横型）（1,2階）
	点字注意銘板付（横型）（1,2階）
	車いす仕様付
	視覚障がい者仕様付（全ての操作盤と乗場ボタンに点字銘板付）
	運転休止スイッチ（1階に取付）
	出入口幅900mm
	車いす呼び戸開き時間延長
	一般呼び戸開き時間延長
	発音式ボタン（かこ）
	非常放送・一般放送用スピーカ－付（かご天井上）
	スピーカ－用アッテネータをかごとに設置
	かご内荷重り（ステンレスヘアライン仕上、床からH=300mm）
	絶縁トランス付
	警報ブザーをかごとに取付
	非常ボタン連動 無電圧接点支給
	公共建築工事標準仕様書（R7）適用
	4mレール使用
	ステンレス材一式：SUS304
	かごと乗場の敷居すきま10mm

-V-

関連工事内容			
号機名	NO. 1		
附帯 工事 項目	項目	工事名	除外 ELV
	1	ストックヤード他、各所養生作業	○
	2	放出品細分化	○
	3	(1) ブランジャー、メインレール、プランジャーレール	○
	4	(2) PLF、かご	○
	5	(3) 機械室品、輸送配管細分化	○
	6	3 搬去品搬出作業（運搬補助）	○
	7	(1) 搬出経路養生	○
	8	(2) 足場材搬入	○
	9	(3) 増重機材設置、解体作業	○
	10	(4) ハッチドア、ボケット、塔内電線、器具、ビット品	○
	11	(5) かご内室、天井、ドアマシン	○
	12	(6) 主ロープ、ガバナロープ、ブラット	○
	13	(7) ブランジャー、ジャッキ含む	○
	14	(8) 主レール、プランジャーレール	○
	15	(9) 機械室品	○
	16	4 新設品搬入（運搬補助）	○
	17	(1) 搬入経路養生	○
	18	(2) 足場材搬出	○
	19	(3) レール、マシン、制御盤、電線、器具関係	○
	20	(4) ハッチドア、ボケット関係	○
	21	(5) ロープ、ブラット、カウンタウエート	○
	22	(6) かご内室、天井搬入	○
	23	5 各種立会い	○
	24	(1) 建築関連（はつり、カメラ関連）	○
	25	(2) 官庁検査	○
	26	6 清掃作業（第工・引渡し前）	○
	27	7 その他附帯工事	○
	28	(1) 既存レールブラケット搬去、塔内補修作業	○
	29	(2) 機械室既存油送管部穴塞ぎ作業	○
	30	(3) 機械室床補修（軽微な補修）	○
	31	(4) エスレンブロック現地加工	○
	32	(5) 各所小はつり作業	○
	33	(6) 火気作業に伴う監視	○
	34	(7) 埋設物調査（簡易調査）	○
	35	(8) 工事写真（作業前・後）	○
	36	(9) その他追加工事	○
	37	(10) 既設シ穴開け	○
	38	7 諸官公署手続き	○
	39	(1) 昇降機確認申請	○
40			
関連 工事 項目	1	油圧機械関連工事	○
	2	・機械室床既設ユニットベースはつり出し工事	○
	3	・機械室床既設ブルボックスはつり出し工事	○
	4	・機械室床既設配管・配線シンダーコンクリートはつり出し工事	○
	5	・機械室床補修&防塵装仕上げ工事	○
	6	・ガラ袋詰め片付け	○
	7	ビット関連工事	○
	8	・ビット内機器はつり出し工事（ガフ袋詰め片付け含む）	○
	9	・ビット防塵装仕上げ及び撤去後の穴等の埋め戻し補修工事	○
	10	機械室内吸排気設備	残置
	11	出入口廻り関連工事	○
	12	・三方枠（大枠）化粧シート貼り（再コーキング含む）（2階）	○
	13	・三方枠 化粧シート下地処理（コーキング剥離含む）（2階）	○
	14	・三方枠 簡易清掃（1階）	○
	15	・集塵数居簡易清掃	○
	16	電気関連工事	○
	17	・動力電源用配管配線延長工事（アース線含む）	○
	18	・照明電源用配管配線延長工事	○
	19	・インターホン及び遠隔監視用配管配線工事	○
	20	・既設機械室に分電盤（主、照明、アース）取付工事	○
	21	・仮設分電盤先発設置	○
	22	各階エレベーターホール安全対策（仮囲い方式）（2階床分）	○
	23	既設油圧作動油抜き取り作業	○
	24	産業廃棄物処理	○
	25	ビット床再構築工事（反力不足の場合）	○
	26	誘導員	○
	27	BT足場リース・運搬	○
	28	埋設管調査	○
	29	BGM及び非常放送スピーカー・インターホン呼び運動用配管配線工事	○
	30	アスベスト含有建材採取&分析調査	○
	31	アスベスト含有時の除去処分作業	○
	32		
	33		
	34		
	35		

電気設備				
号機名	NO. 1			
	AC 3φ 200V 50Hz 8mm ² ×1回路 (CVI) /台			
	線サイズ (mm ²)	8.0	14	22
	最大引込距離 (m)	80	137	208
動力用電源※1 (既設線サイズ3mm ²)	MCB容量	30A/φ 以上		
	トランス容量	4kVA/φ 以上		
	起動kVA	13kVA/φ 以上		
照明用電源※1	AC 1φ 100V 50Hz 3.5mm ² ×1回路/台			
アース線※1	2mm ² (D種) /台			
インターホン用配管配線※2	FCPEV9. 9-5P/φ (200mまで)			
リモートメンテナンス用配管配線※2	CPEV9. 9-1P. 配管サイズφ 25/φ (MDF~昇降路間)			
ビッド台検出コンセント	AC 100V 10A×1個/台 (既設品活用)			
非常放送用スピーカ-用配管配線※2	HP 1. 2-3C/φ (新設)			
インターホン連動用の無電圧 a 接点支給※2	DC110V 0. 1A. 又はAC100V 0. 5A以下			

※1 分電盤一次側ケーブル活用

※2 既設ケーブル活用

勞基法適用（本設用）： 有（設置屆・設置報告）・ ☒ 無

ガイドレール 部分荷重 (N)	かご側		ウェート側	
	P X	P Y	P X	P Y
NO. 1	4400	2500	6750	3400

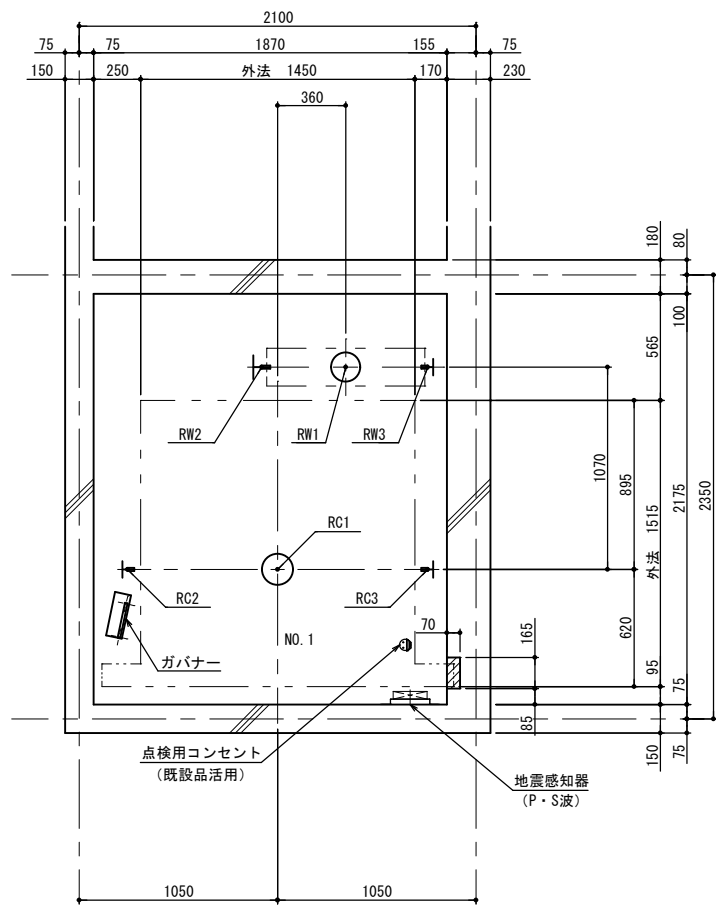
注) 上記荷重により柱及びはりのたわみは
5mm以下になるよう部材を設計下さい

地震時建物に掛る荷重

標準型エレベーターの荷役制限について

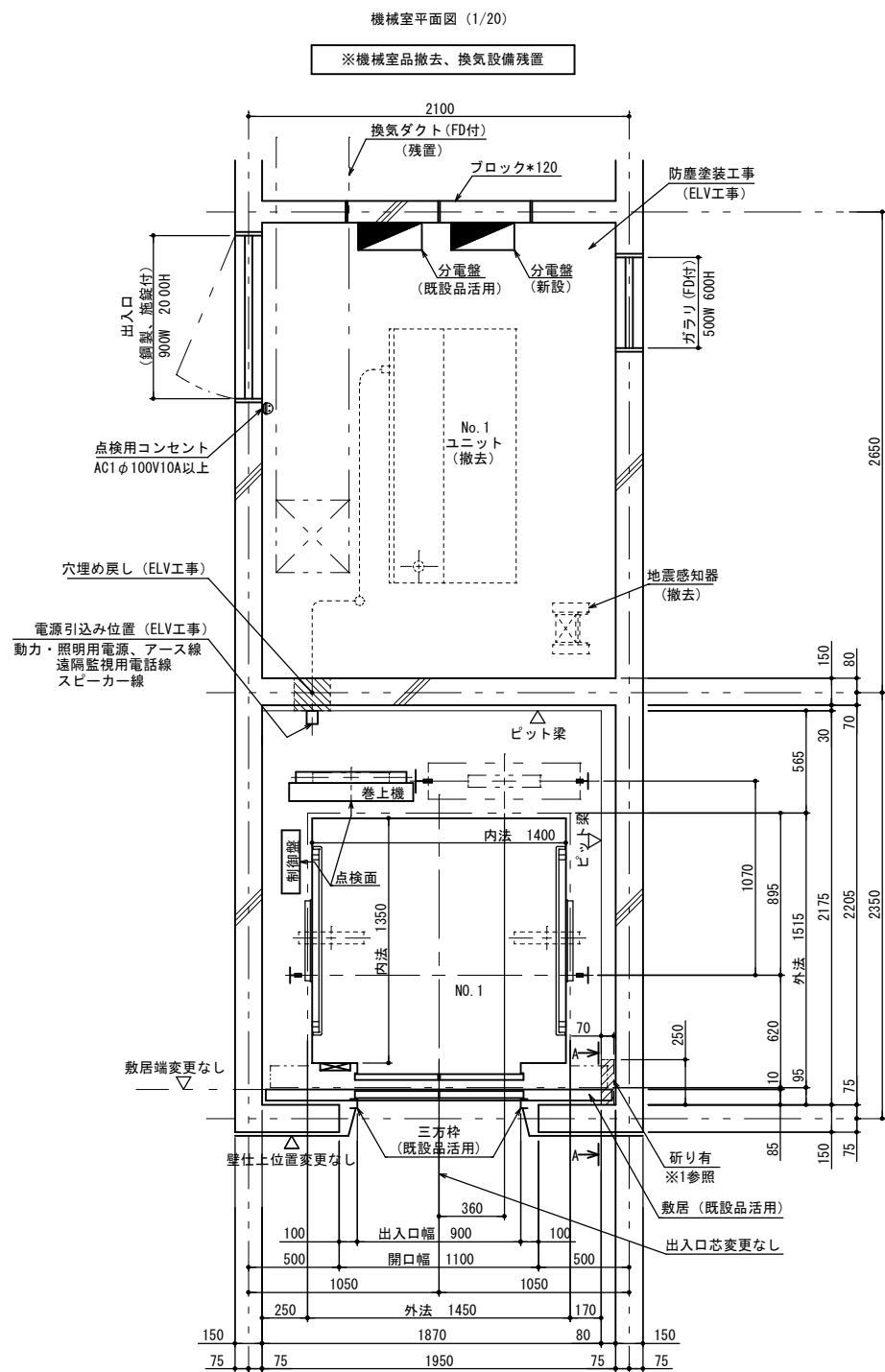
・軽台車などで荷物を運搬する場合には、250kg以下/回。

備 考	整 理 番 号	 〔株〕新 日 本 設 計 一 級 建 築 士 事 務 所 登 録 (8) 第 1 8 6 1 号 一 級 建 築 士 登 録 第 1 7 1 9 5 3 号 松 崎 峰 夫 増 玉 東 館 ヲ 島 市 御 折 町 3 丁 目 28 番 13 号 TEL 049 (285) 1411 (代)	所 長	設計本部長	設計 担 当	設計年度	設計 図	工 事 名 称	大橋市民センターエレベーター更新工事		
						令和7年度	図面番号	図 面 名 称			
									A-06	エレベーター工事概要書	縮尺

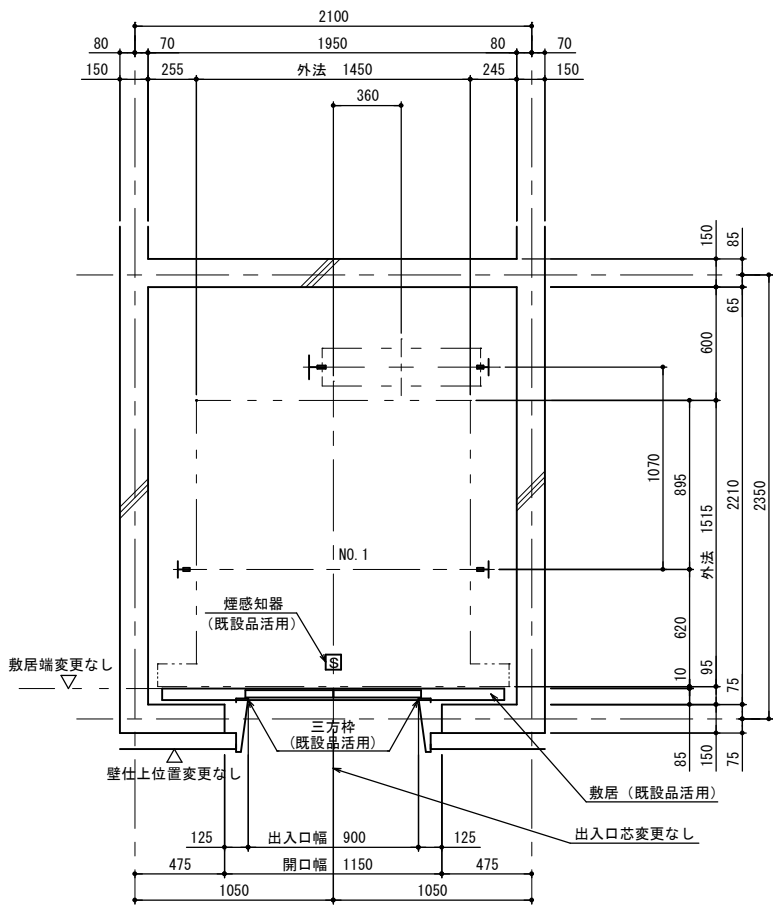
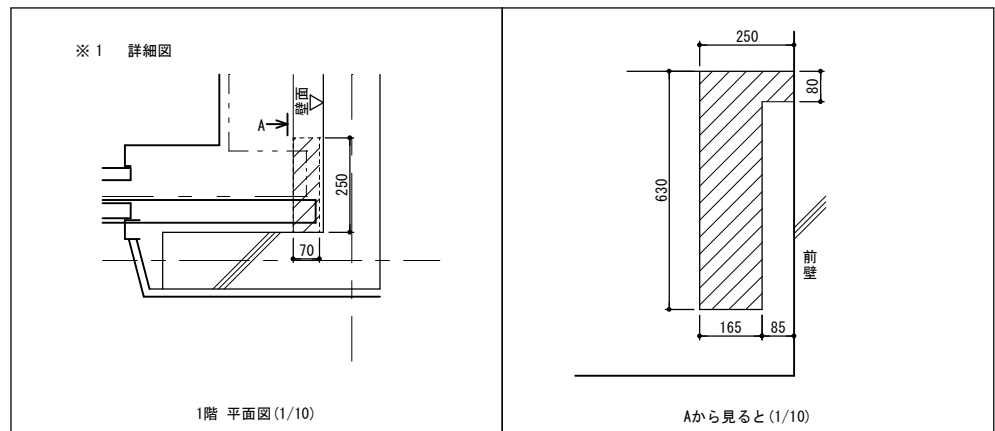


ピット反力値 (N)						
短期荷重			長期荷重			
号機名	RC1	RW1	RC2	RC3	RW2	RW3
NO. 1	82500	65500	20500	20500	42000	14500

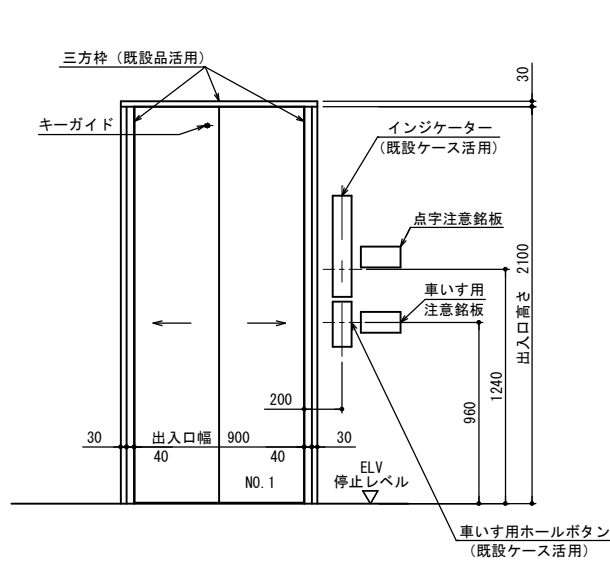
ピット平面図 (S=1/20)



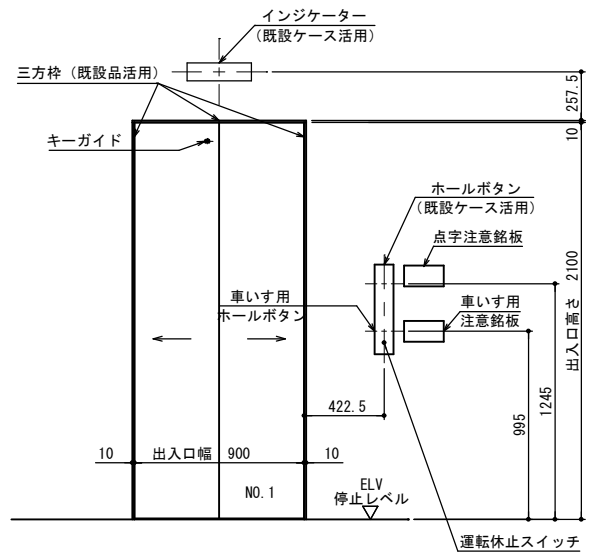
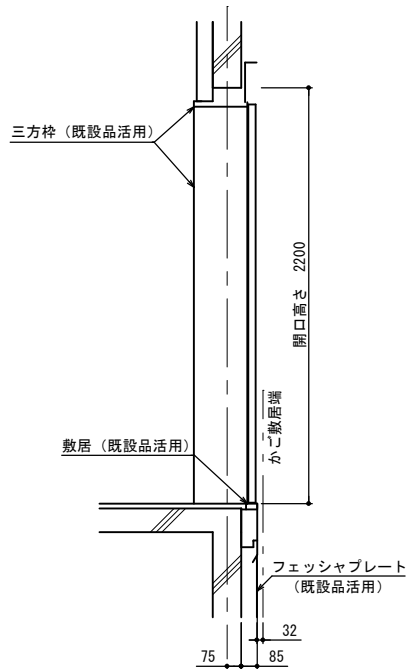
1階 昇降路平面図 (S=1/20)



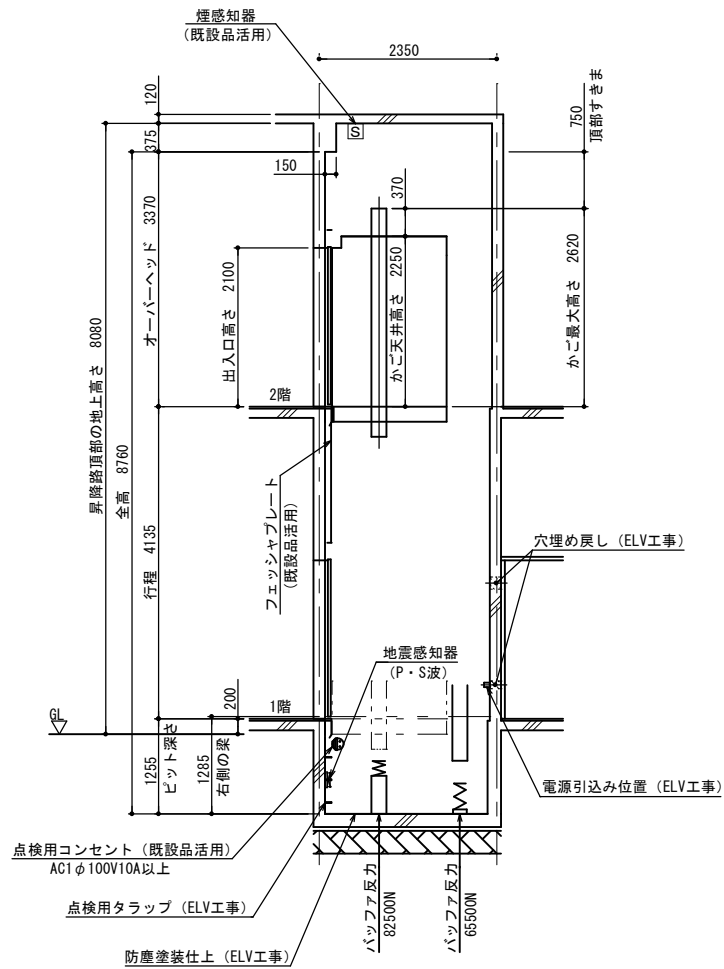
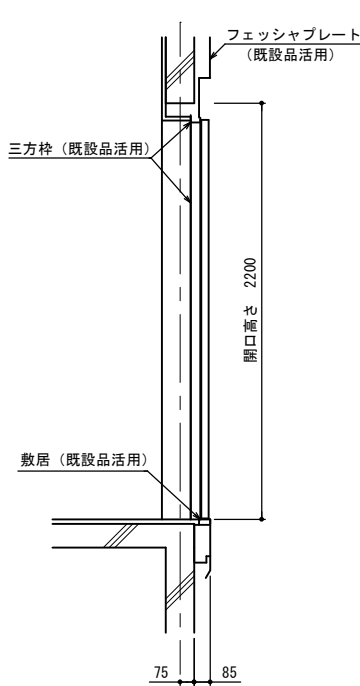
2階 昇降路平面図 (S=1/20)



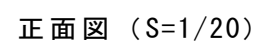
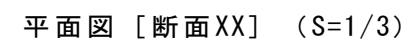
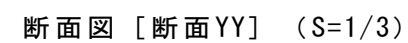
2階 出入口正面及断面図 (S=1/20)



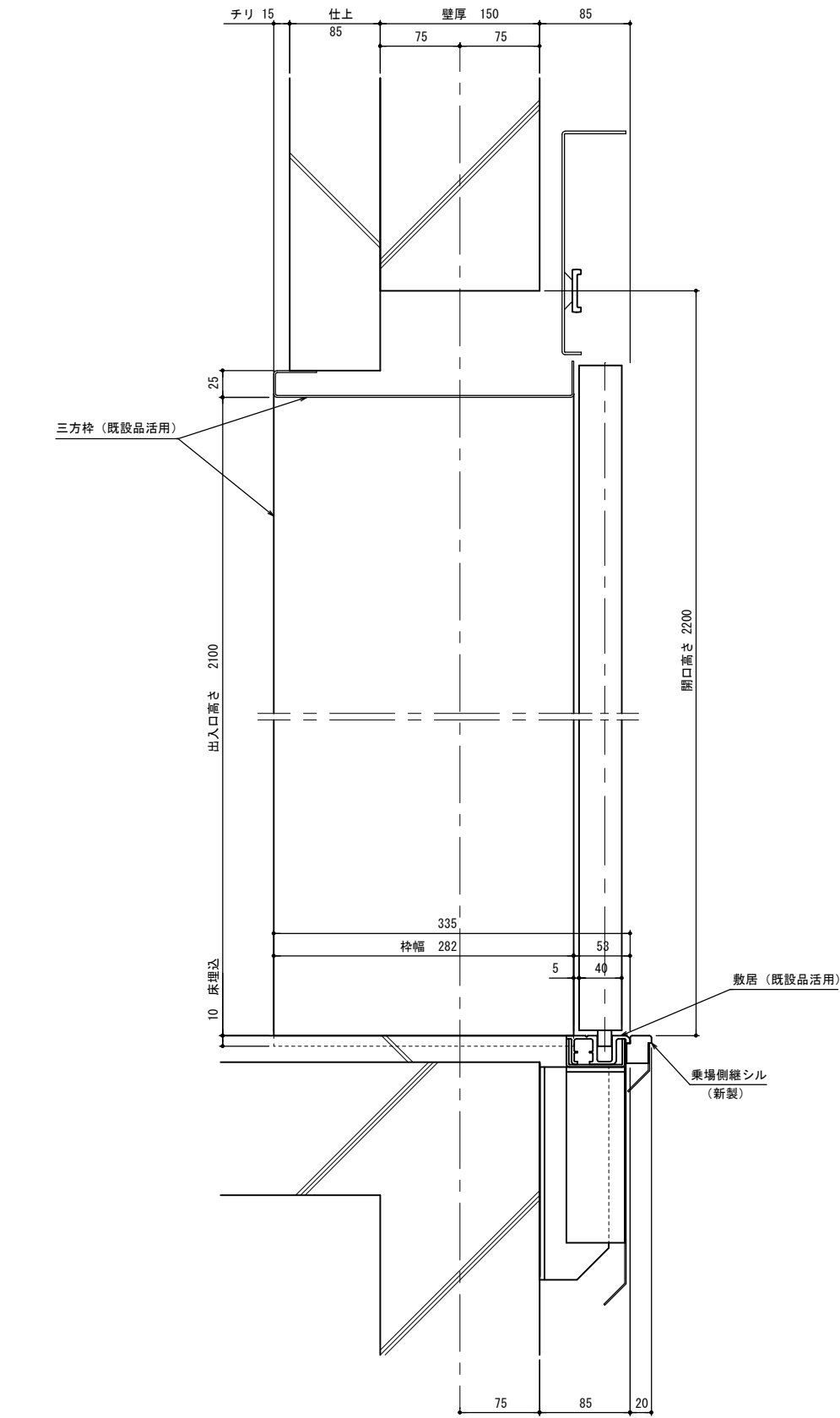
1階 出入口正面及断面図 (S=1/20)



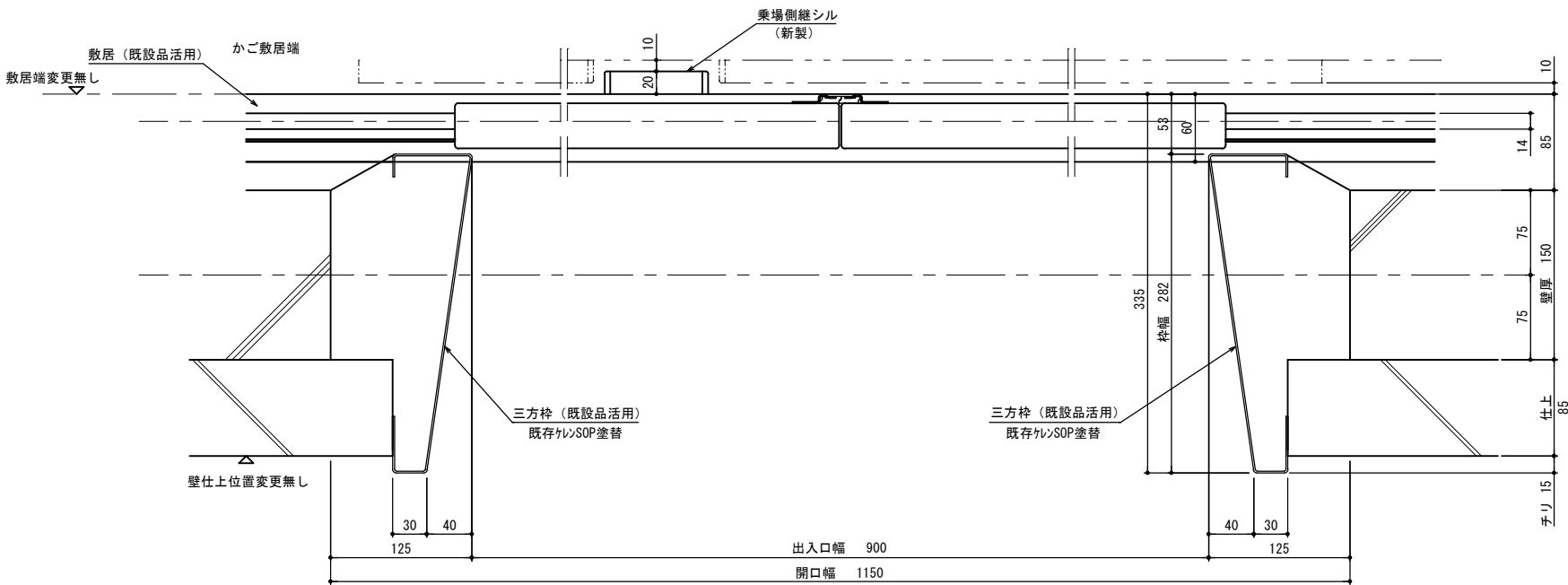
N0.1 昇降路断面図 (S=1/50)



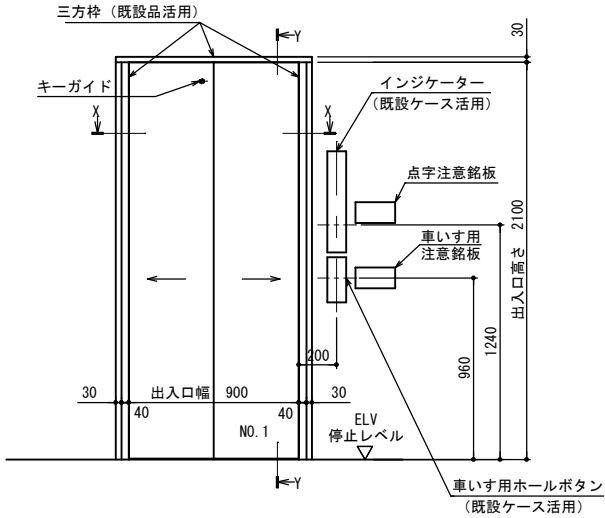
1階 仕 様	
三 方 枠	ステンレスヘアライン（既設品活用、簡易清掃）
戸	ステンレスヘアラインエッチング仕上
敷 居	硬質アルミ（既設品活用、簡易清掃）



断面図 [断面YY] (S=1/3)



平面図 [断面XX] (S=1/3)



正面図 (S=1/20)

2階仕様	
三方枠	鋼板塗装仕上 (既設品活用、シート貼り)
戸	鋼板化粧シート貼
敷居	硬質アルミ (既設品活用、簡易清掃)